



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ 寺井高校卒業) お手次寺・勸導寺(小松)

物理学者・寺田寅彦の有名な警句「天災は忘れた頃にやってくる」がありましたが、近年は気候変動などにより「天災は忘れる前にやってくる」の状況になってきました。本年は熊本地震、能登、福井、千葉で水害などがあり、当市においても出来る限りの対策を提言していきます。

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会 副議長 卯野 修三 (3期目)
(会派・能美保守の会 所属)

[市議になって取得できた資格]

(取得資格) 平成31年2月防災士、平成30年、令和元年と能美市の手話講座受講→手話検定5級、販売士2級、詩吟(吼山流)初段、実用英語検定2級、POP広告クリエイター3級
消費生活アドバイザー(産能大・通教修了)、のみ検定上級、ふるさと小松検定初級、金沢検定初級、白山検定初級、加賀ふるさと検定初級 取得
(主な役職) 能美市商工会理事、のみ商事(協)理事、寺井高同窓会長、てらかつ副会長、(過去の役職) 石川県商工会青年部連合会会長、小松明峰高PTA会長

<熊本地震ボランティア>



◆8月18日 熊本県宇城市
(夜行バスで京都-熊本12時間)

<能登水害ボランティア>



◆8月31日 いのやま
羽咋市飯山町



◆9月2日 宝達志水町志雄地区



◆9月16日 中能登町鹿西地区



◆9月7日 福井県坂井市丸岡地区

<能登・農業ボランティア>



◆5月6日 26回目
珠洲市宝立町(カボチャ植え)



◆6月4日 27回目
能登町当地区(電気柵設置)



◆6月30日 28回目
輪島市空熊町・三井町(草刈り)



◆4月24日
北信越議長会に
副議長として出席
(長野県松本市)



◆4月28日
寺井高校の根上グリーン
ビーチ海岸清掃
(同窓会長として)



◆7月18日
能美市防災士会 研修
穴水町・のと鉄道 語り部列車
ボランティアセンター



◆8月6日
JIAM 議員研修(大津市唐崎)
法政大学法学部
土山希美教授と



◆8月22日
法政大学石川県校友会で
QRコードを開発した法大の先輩
原昌宏さんと



◆8月23日
寺井町公民館行事
町内カーブミラー清掃



◆9月19日
スポーツ・マスターズ
(バレーボール)
寺井体育館



◆10月12日
石川県武術・太極拳
交流発表大会に参加
(野々市市フォルテ)



◆10月14日
ボランティア体験の
講演会(奥野会館)
更生保護女性会寺井

令和8年6月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 6月17日

◆能美市にデータセンターを誘致せよ◆

質問

高市政権はAI人工知能の研究開発、利活用を推進する「地域未来戦略」を取りまとめ、お隣の富山県南砺市でも東京・大阪に次ぐ国内第3のデータセンター集積地を目指し動き始めた。能美市の東部丘陵地の「いしかわサイエンスパーク」にはJAIST(北陸先端大)があり、アメリカのシリコンバレーならぬ仮称「能美ヒルトップ構想」の可能性が考えられる。課題も多々あるが、県とも連携して誘致できないか。

答え

産業交流部 今出部長 社会全体のデジタル化の進展と経済安全保障の観点から重要データの保管の必要性が高まっている。データセンター誘致によりJAISTとの協働研究、IT企業の集積の可能性がある一方、大量の電力、水が必要で、落雷、土砂災害のリスクを確認し、広い敷地・騒音・排熱など周辺環境への見極めが必要。今後、石川県と連携し情報収集と調査研究に努める。

質問

大手企業の誘致と地場産業との共存共栄は。

答え

井出敏朗 市長 市内には、鉄工・機械・繊維など地場産業から先端分野に至るまで多様な優良企業が集積しており、組織文化・設備の規模・生産能力など違いはあるが採用力向上セミナー、企業ガイダンスなどを通じて参加した企業が交流し、信頼関係を構築し、共存共栄の機運を高めていきたい。

質問

冬期間の水田湛水事業について。(湛水とは水田に水を張ること)

答え

産業交流部 今出部長 能美市では平成23年度から当事業に取り組んでおり、地域ごとの用排水条件や土地利用の状況をふまえ、農家の皆様のご協力ご理解を得ながら、水資源の保全、環境保全に取り組みたい。

卯野は思った

データセンターについては再質問もさせていただいたが、課題も多いがほかの自治体にはなくて能美市だけが持つ前述の潜在力(ポテンシャル)を今こそ生かすべきと考える。

質問

◆小中学生のスマートフォンなどの適正利用について◆

①小中学生のスマートフォンの利用時間とトラブル件数は。

答え

教育委員会 森管理局長 平日一日当たり、ゲーム利用(2時間以上)は、小学6年生で49.9%、中学3年生で43.2%で、2年前より増加している。トラブル件数は令和6年度2件、令和7年度6件で、相談内容はLINEグループの仲間外れ、オンラインゲームでの悪口などが挙げられる。

質問

②情報モラル、スマホ・リテラシー(適切に理解し活用する能力)教育について。

答え

教育委員会 森管理局長 情報モラル教育では、個人情報保護、相手への配慮、著作権の保護など。情報リテラシー教育では、情報を見極める力、安全な表現力などに取り組んでおり、「道徳」などの時間で実施していく。又、生成AIパイロット校事業も活用しながら、各家庭におけるルールづくりも推奨し連携していきたい。

(裏面もご覧下さいませ)



6月議会

質問 ③子ども自身の主体的な取り組みについて。

答え 教育委員会 横関教育長 市内小学校においては、学校保健委員会の中で児童がアンケート結果を基に、家庭での過ごし方を見つめ直す取り組みが。市内中学校においては、生徒会が中心となって全体集会を通じて生徒間で意識を高める取り組みが。

卯野は思った 小学生・中学生とも生徒会が主体となって、スマホなどSNSの利用ルールを作れば、大人からの一方的な押しつけでなく、自分事として考えていくと思います。

質問 ◆能美市の婚活支援について◆ ①市内の婚活支援事業の開催件数は。

答え 企画振興部 吉田部長 平成28年度は市内飲食店で共同開催2回、平成29年度と30年度は市主催が年2回、協賛団体が年2回、令和元年度は市主催が3回、協賛団体が5回、令和2年度・3年度はコロナ禍で0回、令和4年度・5年度は各1回、令和6年度は申請なし。内容は飲食を伴う交流会、動物園でナイトイベント、ハロウィン、親御さんを対象の応援セミナーなど令和元年度から婚活支援補助事業がスタートしたが、令和6年度で終了した。

質問 ②人口減少対策の観点からも、石川県、金沢市などで婚活支援事業が展開されているが、今後能美市は。

答え 企画振興部 吉田部長 次年度は現時点では具体的な計画はなく、石川県が実施する婚活支援制度を市民が活用しやすいよう情報提供していく。

卯野は思った 富山市では低床の市内電車(トラム)での婚活支援事業で好評とのこと。能美市でも「のみバス」で市内を回って婚活支援イベントはいかがでしょうか！

6月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



「苦しくなったら、私の背中を見て」2011年ドイツでのFIFAワールドカップで優勝に導いた、日本の元女子サッカー主将の澤 穂希(さわ ほまれ)さんの言葉です。リーダーは、こうあるべきと考えます。

令和8年9月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 9月9日

質問 ◆小中学校体育館に冷暖房・空調設備を整備せよ◆

災害はいつ発生するかわかりません。県内19市町で小中学校体育館の空調設置率0%は能美市を含め現在13の自治体がありますが、金沢市は3年後に100%にすると発表しました。能美市において財政的な課題はあるが、市民の命にかかわる問題です。

答え 井出敏朗 市長 まずは、経年劣化が進む校舎の空調更新を優先するが、国において令和15年度まで空調設備整備、臨時特例交付金が創設されており、この期間を重要な機会ととらえ、順次整備していくための計画策定を進めていきたい。

卯野は思った 答弁を聞き、残念でした。市民の命の問題です。一日も早い冷暖房の空調を！！

質問 ◆スマートインクルーシブシティ事業について◆

①オンライン診療・買い物代行・ノルノミ・こくぞうスマートストアの検証と対策は。

答え 企画振興部 吉田部長
・オンライン診療は栗生町公民館、高坂・根上町公民館で実施しているが、一連の流れを関係機関が連携して円滑に進められる体制の整備が課題である。
・買い物代行は令和7年4月から令和8年7月まで500件の利用しているが、サービスの周知、注文方法、配送方法に課題。
・ノルノミは令和8年8月末現在で53人が登録、46人の方が84回利用だが、利用も広がっていない。
・こくぞうスマートストアは本年3月開設し、新たな仕組みとして現在運用中。
いずれの事業も今後とも費用的効果を勘案し、必要な改善をしていく。

質問 ②コミュニティ・サポーターの役割・方向性は。

答え 企画振興部 吉田部長 中核コミュニティサポーターを中心に、市民コミュニティサポーター28名とスマホカフェの開催やデジタル機器の利用支援に加え、地域の方同士の交流促進にもつなげていきたい。

質問 ③スマートインクルーシブシティ事業の方向性は。

答え 企画振興部 吉田部長 今後事業の継続や見直しを判断していくうえで、利用実績や市民ニーズ、費用対効果、事業の公共性、持続可能性を検証していきたい。そして、公民連携、指定管理者制度も含め、適用の可否を判断していきたい。

卯野は思った これからの時代、デジタル機器、スマートフォンを使用しての市民の生活の利便性の向上は必要なことで、期限を決めて継続するのかどうかを判断してもらいたい。



9月議会

質問 ◆自転車用ヘルメットの着用促進について◆ 本年9月末で能美市の自転車用ヘルメット補助金(1000円)廃止

答え 市民生活部 上戸部長 まず9~10月と能美警察署に協力いただき、自転車交通安全講習会(老人クラブ連合会)を実施して交通安全の資料(6,000人分)を配布。広報紙、ホームページを通じ、ヘルメット着用を継続的に呼びかけ、市民の間に「ヘルメット着用は当たり前」という社会規範を形成していきたい。

卯野は思った 本年8月19日に無印良品の「良品計画」、東京の警視庁、山野美容専門学校そして青山学院大学が「みんなのヘルメットプロジェクト」を立ち上げ、髪型への配慮、フィット感、安全性さらにセンスのよいヘルメットを作り上げ販売スタートしたので、私は是非「ヘルメットをかぶって自転車に乗りたくない！」というイメージづくりを能美市でも「能美スタイル」として進めてほしいと思った。

質問 ◆子どもの権利条例を制定せよ◆

昨年12月に石川県が「いしかわ子どもの権利基本条例」を制定し、すでに白山市・内灘町は制定済で津幡町も制定に動き始めた。

答え 健康福祉部 川本部長 現在、能美市では令和7年3月に能美市こども計画を策定したので、着実に推進し施策の達成状況や課題について検証を実施していきたい。

卯野は思った 能美市は「子どもまんなか社会」を掲げています。子どもの健やかな成長を支える意味で先進の他自治体を参考に条例制定に向けて動き出してほしい。

9月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



経営や事業の本質は、官民間わず、経営学の父・ドラッカーが唱えた「新しい需要の創出」です。行政がしたい事業でなく、市民が求めている事業を提言してまいります。

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812

メルアド uno0905@tvk.ne.jp

うの修三

検索



卯野修三



ホームページ



Facebook



Instagram